

2026 年 5 月 12 日

自然資本や生物多様性の保全・回復に向けた植樹活動・環境研修の実施について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と足利銀行（頭取 清水 和幸）は、このたび、自然資本や生物多様性の保全・回復を目的として植樹活動・環境研修を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社グループでは、「脱炭素社会・環境保全への貢献」を重要課題（マテリアリティ）として掲げており、地球環境を保全しつつ、自然との共生により経済の活性化を図っていくことが、社会の持続性を高めるために必要不可欠であると考えております。

当社グループは、地域の豊かな自然環境を守り育てる森づくりや緑化活動、環境問題に関する研修などを通じて、茨城県、栃木県をはじめとする地域の自然環境の保全・回復に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

記

活動内容	「常陽ふるさとの森」づくり	自然環境の保全に関する研修
実施日	2026年4月20日（月）	2026年5月1日（金）
森林の所在	茨城県常陸太田市里川町	栃木県宇都宮市、日光市
実施内容	公益社団法人茨城県森林・林業協会の協力のもと、コナラ約150本を植樹	「環境問題と企業の関わり方」や「自然環境のサステナビリティ」、「足尾の歴史」についての講義を受講
参加者	常陽銀行 秋野取締役頭取 小野取締役専務執行役員 2026年度新入行員 115人	・ 足利銀行2026年度新入行員 132人 ・ 栃木県産業協議会会員企業の新入社員34人

【当日の様子】



「常陽ふるさとの森」づくり



自然環境の保全に関する講義

※地域の脱炭素化に向けた当社グループの取り組みやサービスの詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

以 上

【ご参考資料】

■ 自然資本や生物多様性の保全に向けた当社グループの主な取り組み

名称	概要				
公益信託「エコーいばらき」 環境保全基金	公益信託「エコーいばらき」は、1992年に常陽銀行と損害保険ジャパン株式会社により共同で設立した環境保全基金です。茨城県内で環境保全に取り組む団体および個人などを対象に助成を行っています。 <table border="1"> <tr> <td>2025年度助成先数・金額</td><td>42先・5,800,000円</td></tr> <tr> <td>設立からの累計助成件数・金額</td><td>1,804先・1億9,636万円</td></tr> </table>	2025年度助成先数・金額	42先・5,800,000円	設立からの累計助成件数・金額	1,804先・1億9,636万円
2025年度助成先数・金額	42先・5,800,000円				
設立からの累計助成件数・金額	1,804先・1億9,636万円				
あしぎんの森づくり	足利銀行は、2012年から栃木県矢板市の0.49ヘクタールを「あしぎんの森」として整備し、管理を行っています。 				
日光杉並木の保全協力	足利銀行は、世界に誇る日光杉並木を守るため栃木県が行っている、「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、制度が開始された1996年より日光杉並木のオーナーになっています。 【杉の保有数】80本（累計） ※2026年3月末現在 				
地域のボランティア活動	各営業店や本部の行員によるボランティア活動を通じて、河川や海岸の清掃やリサイクル資源の回収活動などを行っています。 				
株主優待制度「寄付コース」 による寄付金の贈呈	株主優待制度に「寄付コース」を設定し、申込者数に応じた優待品相当額を環境保全団体に寄付しています。寄付金は地球環境保全活動、茨城県内の緑化推進および栃木県内の環境保全事業などに役立てられています。				